

名前が変わった？メガロドン

メガロドンは、約 2800 万年前から 180 万年前に生息していた史上最大の肉食ザメです。深谷市から発見されたメガロドンの 73 本の歯群化石は、埼玉県を代表する化石のひとつといえます。メガロドンの属名としては、伝統的にカルカロドン (*Carcharodon*) が使われてきました。カルカロドンはネズミザメ科ホホジロザメ属のことで、現在はホホジロザメ 1 種からなり、メガロドンはそのホホジロザメの直接の先祖に当たるという考えでした。一方で、ホホジロザメ属ではないという考えも以前からあり、しばしば議論されていました。

メガロドンは長期にわたって生息しており、その間、歯の形態も変化していました。この変化を遡っていった結果、約 5000 万年前に生息していたオトドゥス オブリクウス (*Otodus obliquus*) というサメから進化したのではと考えられるようになってきました。その結果、現在ではオトドゥス科オトドゥス属に分類する考えが主流になっています。

世界最多の歯群化石

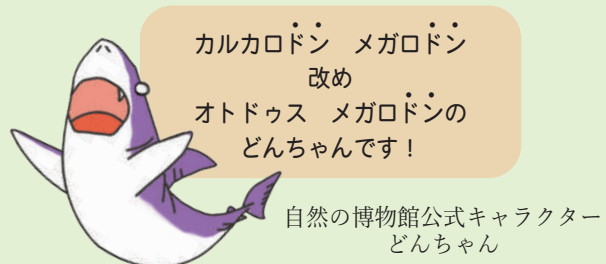
1986 年、現在の深谷市菅沼の荒川河床から、メガロドン 1 個体のものとしては世界最多の 73 本の歯の化石が見つかりました。当時はホホジロザメを参考に顎の復元や生態模型の復元が行われ、全長 12m と推定されま

した。また、2022 年には、歯化石が産出した母岩の中から、メガロドンのものと考えられるウロコと軟骨の化石の抽出に成功しました。その結果、ウロコの形状から、メガロドンは時速 2 km 程度で泳いでいたと推定されています。

埼玉県指定天然記念物の名称

2003 年、1 個体分を網羅する歯群化石として学術的価値を評価され、「川本町産出カルカロドン メガロドンの歯群化石」が埼玉県天然記念物に指定されました。しかし、当時は所有者が 3 者（埼玉県・個人 2 名）であったことから 3 件の指定となっていました。近年になって個人蔵の 2 件が当館に寄贈され、全て埼玉県所有になったため、2026 年 3 月に、1 件に整理するとともに名称も変更し「旧川本町中新統産出オトドゥス メガロドン歯群化石」となりました。また、その際新たに抽出された軟骨やウロコ化石が附指定されました。

(加藤 涼雅／学芸員)



展示のお知らせ（10月～3月）

	タイトル	期 間	内 容
企画展	夜の生き物	10月24日(土) ～ 2月23日(火・祝)	夜の動物といえば、ムササビやコウモリ、フクロウが有名ですが、他にも昆虫などたくさんの生き物がいます。本展示では、これらの生き物を標本等で紹介します。
	冬虫夏草	3月6日(土)～ 6月13日(日)	冬虫夏草は昆虫などに寄生する謎多き菌類です。本展示では、豊富な実物標本や美しい細密画を通して、冬虫夏草のかたちや宿主の多様性を紹介します。
トピック展	もすもす、自然の博物館のコケですけれども。	10月6日(火)～ 1月24日(日)	自然の博物館の敷地内に生育する50種類以上のコケ植物について、各種の特徴や生育環境を紹介していきます。
	骨をくらべる	1月30日(土)～ 6月13日(日)	わたしたちの体を内側から支える骨には、脊椎動物の進化の歴史が詰まっています。様々な動物の骨を比較して、その共通点や多様性について紹介します。

※開館時間：9：00～16：30（7・8月は17：00まで） 入館は閉館30分前まで

※休館日：月曜日（祝日、振替休日、GW、7・8月は開館） 燻蒸のため休館：9月25日(金)～10月2日(金) その他、臨時休館あり

※その他イベントについては、リーフレット（展示・イベント案内）またはホームページ (<https://shizen.spec.ed.jp/>) をご覧ください